

天然記念物指定記念シンポジウム

マチカネワニ化石

– 過去から未来へ、地域から世界へ –

2025 年に天然記念物に指定されたマチカネワニ化石！
貴重な化石を未来へ伝えるシンポジウムを開催！

2026年2月23日(月・祝)
13時30分～16時50分 開場 13時

会場 豊中市立中央公民館 定員 90名
豊中市曾根東町3-7-3

基調講演

江口 太郎 氏 (大阪大学名誉教授)
「マチカネワニは龍の起源なのか？」

参加費
無料

事前
申込み

講 演

渡邊 克典 氏 (きしわだ自然資料館アドバイザー)
「マチカネワニとそのなかまたち - 東アジア地域にいた大ワニのすがた -」
高橋 啓一 氏 (滋賀県立琵琶湖博物館名誉館長)
「国民的財産であるマチカネワニは今後どうあるべきか
- 天然記念物「多賀町アケボノゾウ」を例にして -」
柴田 伊廣 氏 (文化庁文化財調査官)
「天然記念物とは何か？」

申込み方法：豊中市ホームページの電子申込システムからお申込みください

URL:https://www.city.toyonaka.osaka.jp/jinken_gakushu/bunkazai/gyoji_gakusyu/handai_kyousai.html

申込み期間：2026年2月3日(火)～2月15日(日)

*期間中に定員に達した場合は、抽選を行います



マチカネワニ化石が 天然記念物に指定されました！

大阪大学総合学術博物館に収蔵・展示されているマチカネワニ化石が、2025年9月18日、天然記念物に指定されました！

マチカネワニ化石は、学名を *Toyotamaphimeia machikanensis*（トヨタマヒメイア・マチカネンシス）といい、1964年に大阪大学豊中キャンパスの理学部建設現場で発見されました。約42万年前の地層から出土したこの化石は、日本で初めて確認されたワニ類の全身骨格です。頭骨の長さは1mを超える、全長は約6.9メートルから7.7メートル、体重は約1.3トンと推定されており、ワニ類の中でも大型種に分類されます。化石は127点の実物標本から構成されており、地質学・古生物学・病理学など多方面から研究が進められてきました。ワニ類の進化を解明する上で重要な資料であり、学術的価値が非常に高いと評価されています。

大阪大学のキャラクター「ワニ博士」、豊中市のキャラクター「マチカネくん」のモデルにもなっています。地域のシンボルとして親しまれています。

このたび、マチカネワニ化石が持つ学術的価値を広くみなさまに知っていただくため、シンポジウムを開催しました。ぜひご参加ください！

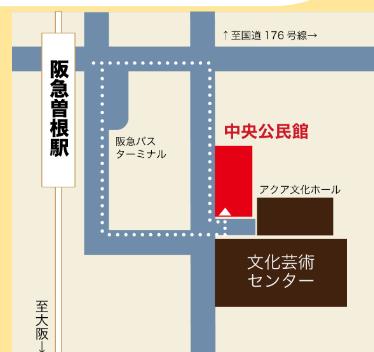
プログラム

- 13:30 開会挨拶
- 13:35 基調講演 江口 太郎 氏「マチカネワニは龍の起源なのか？」
- 14:20 講 演1 渡邊 克典 氏「マチカネワニとそのなかまたち
－東アジア地域にいた大ワニのすがた－」
- 14:50 講 演2 高橋 啓一 氏「国民的財産であるマチカネワニは今後どうあるべきか
－天然記念物「多賀町アケボノゾウ」を例にして－」
- (休憩)
- 15:30 講 演3 柴田 伊廣 氏「天然記念物とは何か？」
- 16:00 パネルディスカッション 司会・伊藤 謙 氏（大阪大学総合学術博物館招へい准教授）
- 16:45 閉会挨拶

*内容等は都合により変更する場合があります

会 場 豊中市立中央公民館 集会場
(豊中市曾根東町3-7-3)

アクセス 阪急電鉄 宝塚線・曾根駅から
徒歩約5分



問合せ先：大阪大学総合学術博物館（大阪府豊中市待兼山町1-20）

電話 06-6850-6284 (10:30~16:30 日曜・祝日、2月9日・10日休館)

豊中市立郷土資料館（大阪府豊中市庄内栄町5-4-14）

電話 06-6334-2551 (9:30~17:00 月曜、2月12日休館)